二〇一七年度　京都府公立高校入試問題（中期選抜）

四〇分
四〇点

一

（注）　字数制限がある場合は、句読点や符号なども一字に数える。

次の文章は、「江談抄」の一節である。注を参考にしてこれを読み、問い(1)～(5)に答えよ。

閣①を閉ぢて唯聞く朝暮の鼓②　　楼に登りて遥かに望む往来の船

河陽館③に行幸④す　　弘仁⑤御製⑥

故賢⑦相ａ伝へて云はく、白氏文集⑧の一本の詩、渡来して御所に在り。尤も⑨秘蔵せられ、人敢へて見ることなし。この句はかの集に在り。叡覧の後、すなはち⑩この観に行幸せられ、この御製有るなり。小野篁⑪をｂ召して見せしめたまふに、すなはち奏して曰はく、「『遥』を『空』と為さば、いよいよ美かるべし」といへり。天皇大いに驚き、勅して曰はく、「この句は楽天⑫の句なり。汝をｃ試みたるなり。本は『空』の字なり。今、汝の詩情は楽天と同じきなり」とのたまへり。文場⑬の故事、尤も⑭この事に在り。よりて書すと。

（「新日本古典文学大系」より）

注

① 閣…高い建物

② 鼓…時をつげる太鼓

③ 河陽館…淀川のほとりにあった離宮

④ 行幸…天皇が外出すること

⑤ 弘仁…嵯峨天皇

⑥ 御製…天皇が作った詩文

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

⑦　賢相…賢い大臣
⑧　白氏文集…唐の時代の中国の詩人である白楽天（はくらくてん）の詩文集
⑨　尤も…とりわけ
⑩　この観…③に同じ
⑪　小野篁…平安時代の漢詩人、歌人
⑫　楽天…白楽天
⑬　文場…文学
⑭　尤もこの事に在り…これが一番だ

(1)　本文中のa伝へて云はくは歴史的仮名遣いで書かれている。この平仮名の部分をすべて現代仮名遣いに直して、平仮名で書け。

伝［　　］［　　］ 云［　　］［　　］

(2)　本文中のb召しての解釈として最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。

(ア)　嵯峨天皇がお呼びになって
(イ)　嵯峨天皇が派遣なさって
(ウ)　賢相が叱責なさって
(エ)　賢相がお褒めになって

［　　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

(3) 本文中のc試みたるなりとは、「試したのだ」という意味であるが、試した方法として最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。

(ア) 一部を隠した句を見せた
(イ) 作りかけの句を見せた
(ウ) 誰のものかわからない句を見せた
(エ) 一部を変えた句を見せた

□

(4) 次の(ア)～(エ)は、本文中のできごとについて述べたものである。(ア)～(エ)を時間の経過にそって古いものから順に並べかえ、記号で書け。

(ア) 嵯峨天皇が白氏文集の一本の詩を見た。
(イ) 嵯峨天皇が句を作った。
(ウ) 嵯峨天皇が河陽館に出かけた。
(エ) 白氏文集が渡来した。

□ → □ → □ → □

(5) 次の会話文は、本文について、都さんと学さんが話し合ったものの一部である。これを読み、後の問い㈠・㈡に答えよ。

都さん　この話の要は、楽天が詠(よ)んだ漢詩だね。
学さん　うん。教科書に載っている「黄鶴楼(くわうかくろう)にて孟浩然(まうかうねん)の広陵(くわうりよう)に之(ゆ)くを送る」という漢詩と同じで、春の長江(ちょうこう)が詠み込まれているんだよね。
都さん　そうだよ。今と違って、嵯峨天皇の頃は、書物はとても貴重で、簡単に手に入らなかったんだよ。
学さん　そんな状況の中で、[　　]から嵯峨天皇は驚いたんだね。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

㈠　漢詩「黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る」の起句と承句の書き下し文は、「故人西のかた黄鶴楼を辞し　煙花三月揚州（やうしう）に下る」であり、漢文では「故人西辞黄鶴楼　煙花三月下揚州」と記す。これに返り点と送り仮名をつけたものとして最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。

(ア)　故人西ノカタ辞シ㆓黄鶴㆒楼ヲ　煙花三月下ル㆓揚州ニ㆒

(イ)　故人西ノカタ辞シ㆓黄鶴㆒楼ヲ　煙花三月下ル㆑揚㆑州ニ

(ウ)　故人西ノカタ辞シ㆓黄鶴楼ヲ㆒　煙花三月下ル㆓揚州ニ㆒

(エ)　故人西ノカタ辞シ㆓黄鶴楼ヲ㆒　煙花三月下ル㆑揚㆑州ニ

㈡　[　　]に入る最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。

(ア)　白氏文集という書物の存在を知らないはずの小野篁が、御所に秘蔵されている「一本の詩」について詳しく知っていた

(イ)　秘蔵されている白氏文集に載っている句を知らないはずの小野篁が、嵯峨天皇の句がその句とまったく同じ句になるような助言をした

(ウ)　白氏文集が唐から渡来したことを知らないはずの小野篁が、白氏文集は人目に触れないよう秘蔵されていることを知っていた

(エ)　秘蔵されている白氏文集について何も知らないはずの小野篁が、楽天の句を嵯峨天皇の句と同じ詩情にまで高めるような発言をした

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二　次の文章を読み、問い(1)～(11)に答えよ。

人は年齢を重ねるにつれて、明示的・暗示的な社会的検閲を何度もくぐりぬけながら感情を飼(か)い馴(な)らすすべを覚え、しだいに疑問と感じなくなっていく。そしてたいていの場合、それが「大人になる」ことだと勘違いしてしまう。

けれども自然にこみあげてくる怒りや苛立(いらだ)ちを抑制したり、湧き上がってくる不信や疑念を封印したりするのは、成熟の証(あか)しであるどころか、むしろ退化の徴候なのではあるまいか。およそ人間であれば、いろいろなaキョク面で感情の昂(たか)ぶりを覚えたり素朴な疑問を抱いたりするのは当然の反応である。そのことを隠すには及ばないし、恥じる必要もない。そうした反応ができるのは、人として欠くべからざる、ひとつの貴重な能力でさえある。だからb通常の定義に逆行することを承知の上で、まず、歳(とし)を重ねてもこの能力を失わずにいることを「大人になる」ための第一条件と考えたい。

この定義を踏まえてみれば、いささか逆説的な言い方になるが、「大人になる」にはまず「子どもになる」ことが必要であるといえるだろう。子どものように悲しいことを悲しいと感じ、おかしいことをおかしいと思うこと。青空を見上げているうちにわけもなく涙が出そうになったり、見慣れた道を歩いているうちにどうして自分が今ここにいるのかわからなくなったりすること。〈1〉そんな「子ども」になることのできない人は、たぶん「大人」にもなることができない。〈2〉

ただしもちろん、いったん「子どもになる」だけでじゅうぶんというわけではない。〈3〉「大人になる」ためにはもうひとつ、不可欠の要件がある。それはさまざまな感情や疑問を生(なま)の形で吐き出すのではなく、自分の中で咀嚼(そしゃく)し、反芻(はんすう)し、消化した上で、他者に共有可能な形で言語化できる能力をもつということだ。この条件を満たせない限り、人はいつまでも子どものままにとどまってしまう。〈4〉

みずからの内部に萌(きざ)した曖昧な感情や素朴な疑問に的確な言葉を与え、自分以外の他者に向けて差し出すこと――これは想像以上に困難をともなう作業であり、十全な形で実行するには、それなりの下地や素養が必要である。つまりこの作業を可能にするだけの豊富な知識や経験、そしてそれらに裏打ちされた高度な思考能力がなければならない。私たちはこれらの要素をひとまとめにして、しばしば「c教養」という言葉で表してきた。したがって「大人になる」ためにはこの意味での教養を身につけること、すなわち「教養人」になることが、第二の条件として求められることになる。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

ところで「教養人」という言葉から、あなたはどんな人間像を思い浮かべるだろうか。

「あの人は教養がある」という言い方をする場合、私たちはたいてい、いろいろなことを幅広く知っている人、自分の仕事以外のことにも関心があり、読書量が豊かで、どんな話題にも合わせられるだけの知識をそなえている人のことをイメージしている。たとえば情報産業の最前線で活躍する企業人が、ふと「モンテーニュも言ってますけど、人間とは、おどろくほど空(むな)しく、変わりやすく、うつろいやすい存在ですよね」などといってみせたりすると、私たちはd率直に「ああ、この人は教養があるな」という印象を抱く。

逆に自分の専門とする分野のことにいくら精通していても、それ以外の話題にまったく疎(うと)い人物のことを「教養人」と呼ぶ者はまずいない。『源氏物語』については生き字引のように詳しい国文学研究者が、うっかり「ＴＰＰってなんですか」などと口走ろうものなら、世間知らず呼ばわりされるのが関の山だろう。

こうしてみると、e「教養人」の条件としてまず要求されるのは、複数の分野にまたがるバランスのとれた知識をもっていることであるといえfそうだ。しかしながら、単に多くの知識を所有しているというだけで「教養がある」といえるわけではない。たとえばテレビのクイズ番組には信じられないほど博学な人がしばしば登場するけれど、彼らは「物知り」ではあっても、必ずしも「教養人」であるとは限らない。いろいろなことを知っているということは、「教養人」であるための必要条件ではあるかもしれないが、けっして十分条件ではないからだ。

では、単なる「物知り」と「教養人」の違いはどこにあるのだろうか。

おそらく両者をg隔てる決定的な一線は、さまざまな知識をただばらばらの断片として所有しているだけなのか、それともそれらを相互に関連づけ、一貫した思考の体系（これを個別的な「知識」と区別する意味で、仮に「知」と呼んでおこう）へと統合できる能力をそなえているのか、という点にある。なにかを知っているということは、それだけではなにごとを意味するわけでもなく、せいぜい「そんなことまでよくご存知ですね」と感心される程度のことにしか役に立たない。しかしそれが「知」を構築する要素として有機的に組み込まれ、いつでも適切な仕方で動員されうる状態にまで昇華されるに至ったとき、人は単なる「物知り」ではない「教養人」としてh振舞うことができるようになる。

ところでこのように定義された「教養人」は、断片的な知識を体系的な知へと構造化するための「軸」をもっていなければならない。そ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

れはべつにいわゆる学問である必要はなく、仕事の上でのノウハウであってもなんでもいいのだが、とにかく「これが自分の拠って立つ場である」といえるようなｉ<u>固有の基盤</u>、それを中心としてもろもろの情報が凝集され統合される専門性の「核」を保有していなければならない。そうでなければ、せっかくの豊富な知識もすべてが均等な重みで並列されているだけで、相互に連動することのない寄せ集めの集合体にとどまってしまうからだ。

要するに、教養人はまず専門人でなければならないのである。

（石井洋二郎・藤垣裕子「大人になるためのリベラルアーツ」より。一部省略がある）

注

○逆説…真理と反対のことを述べているようで、実は一種の真理を言い表している表現
○咀嚼…文章や物事の意味をよく考えて正しく理解し味わうこと
○反芻…繰り返しよく考えたり味わったりすること
○萌した…芽生えた
○モンテーニュ…フランスの思想家
○生き字引…知識が豊かで何ごともよく知っている人
○ＴＰＰ…環太平洋経済連携協定（環太平洋パートナーシップ協定）
○関の山…せいぜい
○昇華…ものごとが純化され、高められること
○ノウハウ…ものごとのやり方

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1)　本文中のａキョク面の片仮名の部分を漢字に直し、楷書で書け。

面

(2)　本文中のｂ通常の定義の内容として最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。

(ア)　自然に湧き上がってくるさまざまな感情を封印し、ものごとを簡単には信用しなくなることが、「大人になる」ということである。

(イ)　歳を重ねることで社会的検閲をくぐりぬけ、自然に感情が湧き上がるようになることが、「大人になる」ということである。

(ウ)　心に生じるさまざまな感情を抑え込み、ものごとに疑いをもたないようになることが、「大人になる」ということである。

(エ)　疑問や怒りなどの自然な感情を、隠そうとしたり恥ずかしく思ったりしなくなることが、「大人になる」ということである。

(3)　本文中には次の一文が抜けている。この一文は本文中の〈１〉～〈４〉のどこに入るか、最も適当な箇所を示す番号を一つ選べ。

その意味では、すでに「大人である」と思っている人ほど「大人になる」ことはむずかしいといえる。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(4) 本文中のc教養について説明したものとして最も適当なものを、次の(ア)〜(エ)から一つ選べ。

(ア) 心に生じる感情や疑問、それらをとらえる感受性のこと。
(イ) 豊かな知識や経験、それらに支えられた思考力のこと。
(ウ) 豊富な読書量に支えられた、さまざまな分野に関する知識のこと。
(エ) いったん「子どもになる」ために必要な、下地や素養のこと。

(5) 本文中のd率直にの意味として最も適当なものを、次のⅠ群(ア)〜(エ)から一つ選べ。また、本文中のi固有のの意味として最も適当なものを、後のⅡ群(カ)〜(ケ)から一つ選べ。

Ⅰ群 (ア) むやみやたらに　(イ) 普段よりおおげさに　(ウ) 他の人より先に　(エ) 飾りけなくありのままに

Ⅱ群 (カ) 強くてかたい　(キ) そのものに限ってある　(ク) 他よりも重要な　(ケ) まれにしか存在しない

Ⅰ
Ⅱ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

(6) 次の文章は、本文中のe「教養人」の条件について述べたものである。[X]・[Y]に当てはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、後のⅠ群(ア)・(イ)から一つ選べ。また、[Z]に入る最も適当なものを、後のⅡ群(カ)・(キ)から一つ選べ。

専門以外の複数の分野にまたがるバランスのとれた知識を幅広くもっていることは、「教養人」であるために[X]な条件ではあるが、「教養人」であるために[Y]な条件ではない。つまり、[Z]ということである。

Ⅰ群 (ア) X 必要　Y 十分　(イ) X 十分　Y 必要

Ⅱ群 (カ) 「教養人」は必ずさまざまな知識をもっているといえるが、さまざまな知識をもっている人が必ず「教養人」だとはいえない

(キ) さまざまな知識をもっている人は必ず「教養人」だといえるが、「教養人」が必ずさまざまな知識をもっているとはいえない

Ⅰ [　]　Ⅱ [　]

(7) 本文中のf<u>そうだ</u>の品詞として最も適当なものを、次のⅠ群(ア)～(エ)から一つ選べ。また、f<u>そうだ</u>と同じ意味・用法でそうだが用いられているものを、後のⅡ群(カ)～(ケ)から一つ選べ。

Ⅰ群 (ア) 助詞　(イ) 助動詞　(ウ) 感動詞　(エ) 形容動詞

Ⅱ群 (カ) 南の島で見る夕日はとても美しいそうだ。

(キ) 午後は雨が降りそうだと彼女は言っていた。

(ク) 彼は今度の生徒総会で意見を言うそうだが本当だろうか。

(ケ) そうだ、次の休みの日には一緒に映画を見に行こう。

Ⅰ [　]　Ⅱ [　]

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

(8)　本文中のg隔てるの漢字の部分の読みを平仮名で書け。

てる

(9)　本文中のh振舞うことができるようになるを単語に分け、次の〈例〉にならって自立語と付属語に分類して示したものとして最も適当なものを、後の(ア)～(エ)から一つ選べ。

〈例〉日は昇る　…　(答)　自立語＋付属語＋自立語

(ア)　自立語＋付属語＋自立語＋付属語＋自立語＋付属語＋自立語
(イ)　自立語＋自立語＋付属語＋自立語＋付属語＋付属語＋自立語
(ウ)　自立語＋付属語＋自立語＋自立語＋付属語＋自立語
(エ)　自立語＋自立語＋付属語＋自立語＋付属語＋自立語

(10)　本文に書かれている内容と一致している文として適当なものを、次の(ア)～(オ)から二つ選べ。

(ア)　成熟した大人になろうとすることで、人間としての自然な感情をもった子どもであり続けることができる。
(イ)　私たちは「教養人」という言葉から、自分の仕事以外のことに関する知識も豊富にもっている人を思い浮かべることが多い。
(ウ)　特定のことがらに対して深い知識をもった人であっても、世間知らずといわれてしまうことがある。
(エ)　さまざまなことについて詳しく知っているということは、それ自体が大きな意味をもつことである。
(オ)　相互に連動することのない寄せ集めの知識は、ものごとを判断するときに思考の妨げになることがある。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

(11) 京子さんと太郎さんのクラスでは、本文を学習した後、本文についての意見を交換し、レポートを作成することになった。次の会話文は、京子さんと太郎さんが話し合ったものの一部である。これを読み、後の問い㈠～㈣に答えよ。

京子さん　筆者は、自分の中に生じた[A]能力をもっていることが「大人」になるための条件の一つだと述べているよ。この能力をもつ人を、筆者は「教養人」と表現しているね。

太郎さん　そうだね。そして、本文にあるとおり、単なる「物知り」ではない「教養人」になるには、多くの知識を[B]としてもっているだけではなく、それらの知識を有機的に結びつけて、[C]へと構造化しなければならないんだ。

京子さん　そのためには、[D]がなければならないと筆者は述べているんだね。それじゃあ、テーマを決めてレポートを書こう。

㈠ [A]に入る最も適当な表現を、本文中から**三十六字**で抜き出し、**初めと終わりの三字**を書け。

□□□～□□□

㈡ [B]に入る最も適当な表現を、本文中から**九字**で抜き出して書け。また、[C]に入る最も適当な表現を、本文中から**九字**で抜き出して書け。

B □□□□□□□□□

C □□□□□□□□□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

㈢ D に入る最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。

(ア) ものごとを考える土台となる自分の得意な分野
(イ) 情報を相互に連動させて用いることができる素質
(ウ) バランスよく知識を得るための基礎的な学力
(エ) 互いに結びついた知識を分類して整理できる知恵

㈣ レポートを書く際の注意点として**適当でないもの**を、次のⅠ群(ア)～(エ)から一つ選べ。また、京子さんはレポートのタイトルを行書で書くことにした。行書の特徴について述べた文として**適当でないもの**を、後のⅡ群(カ)～(ケ)から一つ選べ。

Ⅰ群
(ア) 漠然としたテーマよりも、具体的なテーマを設定する。
(イ) 調べたことは、カードやノートを用いて工夫して記録する。
(ウ) 集めた情報をすべて盛り込めるよう、構成を工夫する。
(エ) 調べたことと自分の意見を分けて構成する。

Ⅱ群
(カ) 楷書で書くときと異なり、筆脈を意識しないことが多い。
(キ) 楷書で書くときよりも、点画に丸みをもたせることが多い。
(ク) 楷書とは異なった筆順を用いることがある。
(ケ) 点画を連続させたり省略したりすることがある。

Ⅰ
Ⅱ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

〈Note〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二〇一七年度 京都府公立高校入試問題（中期選抜）

一

解答

(1) (伝)えて(云)わく　(2) (ア)　(3) (エ)　(4) (エ)→(ア)→(ウ)→(イ)　(5) (一) (ウ)　(二) (イ)

解説

(1) 語頭以外の「は・ひ・ふ・へ・ほ」は「わ・い・う・え・お」にする。

(2) 「召して」の主語は嵯峨天皇である。「召す」は「呼ぶ」の尊敬語。

(3) 「楽天の句」の「本は『空』の字」であったのを「遥」の字に変えて、「閣を閉ぢて…往来の船」という御製の詩として、小野篁に見せたことをおさえる。

(4) 「白氏文集の一本の詩、渡来して御所に在り」「叡覧の後」「この観に行幸せられ」「この御製有るなり」という順である。「叡覧」は、天皇や上皇がご覧になることを意味する。

(5) (一) 二字以上戻って読む場合には「一・二点」を用いる。(二) 嵯峨天皇が「白氏文集」にある句の「遥」の字を「空」に変えて御製の句を作り、小野篁を試しに見せたところ、「白氏文集」を見たこともないはずの小野篁が「『遥』をもつて『空』と為さば、いよいよ美かるべし」と言ったので、「汝の詩情は楽天と同じきなり」と驚いたということである。

口語訳

建物を閉じてただ朝と夜の時をつげる太鼓の音を聞く　高い建物にのぼって遥かに往来の船を望み見る

河陽館にいらっしゃった嵯峨天皇がお作りになった詩文

亡き賢い大臣が伝えて言うには、「白氏文集」の一本の詩が日本に渡来して御所にある。とりわけ大切に所蔵されて、人はまったく見ることはない。この句はその「白氏文集」の中にある。嵯峨天皇がご覧になった後、河陽館に行幸されて、この句をお作りになった。小野篁をお呼びになって（御製の句を）お見せになられたところ、すぐに申し上げて、「『遥』を『空』としたならば、ますますよ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

いでしょう」と言った。天皇はたいへん驚き、「この句は白楽天の句である。お前を試してみたのだ。もともとは『空』の字である。お前の詩情は白楽天と同じだ」とおっしゃった。文学の故事は、これが一番だ。そのために書いておくと。

二

解答

(1) 局(面)　(2) (ウ)　(3) 〈2〉　(4) (イ)　(5) Ⅰ、(エ)　Ⅱ、(キ)　(6) Ⅰ、(ア)　Ⅱ、(カ)　(7) Ⅰ、(イ)　Ⅱ、(キ)　(8) へだ(てる)　(9) (エ)　(10) (イ)・(ウ)
(11) ㈠ 曖昧な〜し出す　㈡ B、ただばらばらの断片　C、一貫した思考の体系　㈢ (ア)　㈣ Ⅰ、(ウ)　Ⅱ、(カ)

解説

(2) 「人は年齢を重ねるにつれて…疑問と感じなくなっていく」のが「大人になる」ことだという考え方が、「通常の定義」にあたる。

(3) 抜けている文の「すでに『大人である』と思っている人」が、「『子ども』になることのできない人」を言い換えていることに着目する。

(4) 前に述べている「これらの要素」、つまり、「みずからの内部に萌した…他者に向けて差し出す」という作業を可能にするだけの「豊富な知識や経験…思考能力」という要素をまとめて表している。

(6) 「いろいろなことを知っているということは、『教養人』であるための必要条件ではあるかもしれないが、けっして十分条件ではない」としている。このことは、「教養人」であるためにはいろいろなことを知っていなければならないが、それだけで「教養人」と言うことはできないことを意味している。

(7) 活用のある付属語で、ここでは推量の意味で使われている。(カ)・(ク)は、伝聞の意味で使われている。(ケ)は、それだけで独立している感動詞である。

(9) 単語は、意味をもつ最小の単位の語にくぎったときのそれぞれのこと。ここでは「振舞う／こと／が／できる／ように／なる」と分けられる。「振舞う」「できる」「なる」が動詞、「こと」が代名詞で自立語であり、「が」が助詞、「ように」が助動詞で付属語である。

(10) 私たちは「いろいろなことを幅広く知っている人…知識をそなえている人」のことを「教養がある」人とイメージしていると述べている。一方で、「自分の専門とする分野のことにいくら精通していても、それ以外の話題にまったく疎い人物」は「世間知らず呼

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

ばわりされるのが関の山」だとも述べている。

⑾㈠「自分の中で咀嚼し…他者に共有可能な形で言語化できる能力」を言い換えた表現を探す。「自分の中に生じた」と、本文の「みずからの内部に萌した」が対応していることに着目する。㈡「単なる『物知り』と『教養人』の違い」について、「さまざまな知識をただばらばらの断片として所有しているだけなのか」「それともそれらを相互に関連づけ…へと統合できる能力をそなえているのか」ということを挙げている。㈢「教養人」は、「『これが自分の拠って立つ場である』といえるような固有の基盤」「それを中心としてもろもろの情報が凝集され統合される専門性の『核』」を保有していなければならないとしている。㈣Ⅰ、集めた情報を整理し、取捨選択することもレポートを書く上で必要とされる。Ⅱ、行書は、点画を省略したり筆順を変えたりして、それぞれの点画が続くように書く書体である。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。